

平成28年度 第1回 三朝町子ども・子育て会議 会議録

1. 日 時 平成28年8月31日（水）午後7時～午後8時50分

2. 場 所 三朝町総合文化ホール 山村振興対策室

3. 内 容 I. 辞令交付

委員15名、アドバイザー1名に委嘱状を交付

※欠席委員は後日、会議録とともに郵送

II. 議事

①同会議会長及び副会長の互選

事務局一任の発言を受け、当会議に提案、全委員の承認を得た。

※以下②～⑤まで事務局が説明

②子ども・子育て支援新制度の概要について

③同会議の役割について

④同事業計画について

⑤進捗状況の点検・評価について

(1) 報告事項

①平成27年度 子ども・子育て支援事業計画進行管理表について

事務局が説明。

②小学校統合に向けてのこれまでの経過と今後の取り組みについて

教育委員会事務局担当課（以下「担当課」という。）が経過を説明。

(2) 協議事項

①放課後児童対策の在り方について

小学校統合にむけた放課後児童対策の今後の在り方について各委員から意見を聴取した。

4. 議事等に対する「質疑」及び「意見等」

(1) ① H27年度 子ども・子育て支援事業計画進行管理表について

【会長】7ページ上の段、一時預かり事業について、計画値は5人で実績値は79人。

大幅に計画値を超えているが、保育現場での支障はなかったか。

【委員】一時預かり事業として、保育士を1名確保しているのが、特に支障はなかったが、今年度の夏頃から1日2名預かることもあり、需要が増えていることは感じている。

【委員】この量の見込みというのが実人数なのか延べ人数なのか分からないところもあるが、実績としては、同じ方が何度も利用されて延べ数がこの数値になっていると考える。対応については特に支障はなかったと思う。

【会長】計画値から推測すると利用延べ数ではなく、実利用家庭の数ではないのか。

【事務局】実績値については、確認させていただきたい。実績値は延べ利用者数を拾っている可能性が高い。同じ養育家庭が複数回、利用している。

【会長】現場が上手く回っていれば、問題はないと思う。

(1) ② 学校統合に向けてのこれまでの経過と今後の取り組みについて

【会長】結局、①平成 30 年度に統合をする。②校舎は今の西小学校を使う。③それには必要な改修を行う。④その後、2 年後を目途に新校舎を建設する。大まかに言えばそういうことか。

【担当課】現時点での思いとしては、その考えで議会に説明させていただく予定。

【会長】最初、教育委員会としては、平成 30 年度統合すると方針を出したが、新校舎の建設と併せて統合したいという考え方が出てきて、平成 32 年に統合して新しい校舎を建てたいというのが、教育委員会の方針だったかと。その後、議会から再検討の意見が出て、結局、統合は当初の平成 30 年度に行う、その後、2 年間準備して新校舎を建設するという方針に変わってきたということか。

【担当課】少人数学級の解消という部分が、当初の方針からの重要な課題であり、喫緊の課題であると考え、平成 30 年度の統合を提案させていただいた。

【委員】南小学校の生徒数は、平成 30 年度には何人になるのか。

【担当課】1 人だけの学級が 2 クラスは出来てしまうような生徒数の推移となる。

【会長】校舎建設について、現在の教育委員会の考え方、例えば平成 32 年度に新校舎を建設する、その建設において何か不都合とかはないのか。起債の問題とか。

【担当課】統合に併せて新校舎の建設を進めるというところで、国庫補助金の活用が有利となることも一体として進めたい要因の一つ。もちろん、建設するということになると、莫大な費用が発生するため、財政部局とも協議しながら、統合にむけた取り組みを進めていきたい。

【会長】平成 30 年度に統合し、平成 32 年度に新校舎が出来て生徒が入るということで何ら支障はないということか。

【担当課】やはり出来るだけ早く、少人数学級の解消を図るという方針は変えることは出来ないため、平成 30 年度に統合をし、併せて新校舎の建設を進めたいと考えている。

【会長】現在の西小学校の東側あたりが新校舎の建設予定地になるということか。

【担当課】東側ということになれば、その辺りということになる。

【会長】今の考え方からすると、新校舎の完成は 4 年後になるということか。

【担当課】やはり保護者の方からはいろんな意見があるが、南小学校の保護者からも同様の意見をいただいている。どの考えが正しいとか正しくないということではなく、子どもたちにとって何が一番良いのかということを考えたときに、教育委員会としては、新校舎が完成した段階で、3 校が同時に統合するという形が理想的だと考える。これから保護者の方、議会との話の中でどういった展開になるかわからないが、色々なご意見をいただければありがたいと考えている。

(2) ① 放課後児童の在り方について

【委員】今の小学校統合問題の経過を踏まえて、放課後児童対策、学童クラブということだけでなく、もっと広い視点での放課後児童健全育成について、委員の皆さまからご意見

をいただきたい。小学校統合についてのご意見はそれぞれ説明会等でも、保護者の方もお聞きしていると思うので、この場では報告ということで、小学校統合に密接に関わってくる放課後対策の在り方についてのご意見をいただきたい。

【会長】 ざっくばらんに自由にご意見をいただければと思うが。

【事務局】 事前にお配りした、放課後児童対策の今後の在り方というテーマとしているが、学校教育外の子どもたちの健全育成をどのように図っていくべきか、地域がどのように関わっていくべきか、どのような体験や支援をしていけば、学童クラブを利用していない子どもたちについても、健全育成を図れるのかということも考えていかなければならない。就学後の子どもたちの健全育成をどう図っていくべきかについてもご意見をいただきたい。

【会長】 この放課後児童の在り方についての問題も、2年後には統合するということだが、どのように放課後児童対策をしていくのか、急務な課題であると言える。4年後には新校舎が完成するが、それまで待てない状況であると思うし、具体的にご意見をお伺いしたい。

【委員】 新校舎が平成 32 年度完成なら、2 年間は今までどおりの場所、体制で学童クラブを運営していかなければならない。

【会長】 小学校統合しようがしまいが学童クラブは実施していかなければならない。要は現在の3か所で実施している学童クラブを統合後、どうしていくのか考えていかなければならない。

【委員】 西小に集めるにしてもランチルームくらいしか場所がない。

【会長】 今の西小の校舎の一角を使って学童クラブを開設する場合の話か。

【委員】 そう。しかし、三徳と竹田の地区公民館まで帰っていくことが大変になるか。

【会長】 西小の子どもたちは、当面、今のところでも良いかもしれないが。逆に東小と南小の子どもたちも預かるとなると施設がない。

【委員】 例えば児童館を建てるとか。

【担当課】 先般、東小校区で説明をさせていただいたときに、東小の学童指導員の方からは、現在の東小学童クラブは、コミュニティセンターであり、体育館あるなど施設面も問題なく、異学年の良好な関係が出来ているなど、統合後も引き続き学童クラブを運営しても良いのではないかという意見もいただいた。

【会長】 平成 30 年度に統合しても、東小の子どもたちは今の学童クラブに帰っていくということも一つの選択肢であるということか。

【担当課】 一つの方法論としてはあるのではないかと個人的には考える。

【委員】 統合後の学童クラブは何人くらいになるのか。

【委員】 東小学童クラブは 31 人。

【委員】 南小学童クラブは、夏休みは 20 人だが、普段は 11 人。

【会長】 ということは、最大 50 人が増えるということか。

【委員】 しかし、平成 30 年度になれば生徒数は大幅に減少するし、学童を利用されるかどうかもわからない。

【委員】 町外の実態というのはどうか。拠点施設があって、受け入れ体制が整っているのかどうか。各市町は。うちだけがそうなのか。

【委員】 指導員研修で意見交換を行うが各市町で様々。学校施設内にあるところもあるし、児

童館に開設しているところもある。経営もいろいろ。本町のようなところもある。

【委員】NPOが運営しているところもある。

【委員】鳥取市はNPOの運営数が増えてきている。国基準の40人を超えてきて手を広げているところもあり、やはり需要は増えてきている。

【委員】単純な質問だが、今はまだ3つの小学校があるが、統合して学童クラブをすとなれば、理想としては1つの学童クラブが良いのか。それとも、今の子どもたちの住まいの近いところにあるのが望ましいのか、学童クラブとはどうあるべきなのか。

【委員】現在、子どもたちの安全な居場所、預かり場所として、地域協議会や直営で実施している現状で、平成30年度に統合する場合に平成32年度の新校舎建設まで、どうやって運営していくのかということが1点と、そもそも放課後の子どもたちの生活がどのようなものであったら良いのか、先ほど事務局が申したとおり、学童クラブの預かりは必要としないが、放課後の子どもたちの成長発達や社会体験を増やすためには、もっと様々なメニューがあっても良いのではないかといったご意見をいただきたいという2つの考え方で自由なご意見をいただきたい。子どもたちはたくさんの好奇心を持ち、様々な体験をしたいと思っているはず。そんな2とおりのご意見をいただきたい。もちろん、現状をどうするのかというご意見も必要であるが、三徳地域協議会の学童指導員から引き続き学童クラブを運営してはどうかとの意見について、移動方法を考えれば新校舎が完成する平成32年までは何とかなるかもしれないといったことも言えるのではないかと。

ただし、新校舎の建設には学童クラブは切っても切り離せない重要な問題であると思っている。特に西小学童クラブでの現状について、長年、指導員として関わっておられる委員からご意見をいただければ。

【委員】実情を解っていない方がいらしたら、指導員が大声を出しているとか思われるかもしれないが、指導員は子どもたちに怪我がないようにということを一番考えている。

【委員】西小から学童クラブへ通所する際、近いようで距離がある。その道中で気になる行動についてはどうか。

【委員】通所の道中では、大人では想像できないことを子どもたちは楽しいと思ってやっている。「ほんとですか？」と思われるかもしれないが。

【委員】先ほどの意見は、新校舎が建設された時に学童クラブの位置はどこにあるべきかという課題提起だと考える。

【委員】要するに安全面ということ。

【会長】新しい校舎が出来れば、旧校舎を利用することもできる。もっとも、利活用の計画がどうなるかは解らないところではあるが。新しい活動拠点が出来れば一番良いだろうが、なかなかそういうことにもならないだろうし。

【委員】理想的には、新校舎の一角に学童クラブ施設を建設するのが良いと思う。

【会長】安全面を考慮すれば、新校舎の一角に整備するのが一番望ましいと思うが、管理面の問題もあるため、敷地内に併設してはどうか。

【委員】小学校統合したら、希望としては、プレハブでも良いので建ててほしい。

【会長】新校舎の敷地内にとということか。

【委員】平成30年度の統合の話。西小の駐車場は余裕があるので、もし、学童クラブが一緒になるのであれば、そこに新校舎が完成するまでの2年間でも、今よりも広い施設が

必ず必要となる。

【担当課】平成 32 年度に新校舎が完成するという事は現時点では断言できない。当然、これから議案に提案していかなければならないので。もちろん、今のお話のとおり、安全面から考えると学校の近くに整備するというのが妥当であるから、それも踏まえて考えていかなければならない。

【会長】このようなテーマについての会議を何回か開く必要があると考える。

【委員】今日は、保護者の方も出席いただいている。今後、期待する放課後児童の在り方について、安全面だけにとらわれない自由なご意見をいただければと思うが。

【委員】個人的に三徳センターに行く機会が多いが、利用人数、施設規模を見るに、あそこが一番良いと感じる。体育館もあり、1室に閉じこもっているのではなく、遊ぶことが出来るので。

一方、西小学童クラブはぎゅうぎゅう詰めで、屋内体育施設もない。指導員さんも足りていないと感じる。我が子も夏休み中は利用していたが。指導員さんは大変だと思う。西小学童クラブは利用人数に対して施設規模が小さく狭いと考える。

【副会長】我が家はまだ就学前なので、施設の様子がわからないが、先ほど、事務局から多様な体験を含めた放課後児童対策を考える必要があるというお話があったが、週休2日制となって土曜学校が始まった時と状況的には近いと感じている。具現化していくには、やはり受け入れる体制づくりが重要で、当時、竹田、三徳、三朝においても、そのような体制が出来ていたと思うので、まずはそこから固めていかないと、次のステップには進めないのでは。まずは、子どもたちが安全で集まれる場所、人材を整えていくことが最優先ではないかと考える。

【会長】それでは、各委員から今後の放課後児童対策の在り方について、一言ずつご意見をいただきたい。

【委員】やはり小学校統合にかかる新校舎建設には、安全面を重視して、学童クラブを含めた校舎の設計をお願いしたい。

【委員】統合後、学校が終わって各地域まで帰ってきて学童クラブを運営するかどうかは竹田地域協議会としては方向性が定まっていない。

【委員】三徳地域協議会も、小学校統合決定後、学童クラブをどうしていくのかという方向性は定まっていない。指導員の中には、一番恵まれている施設規模だし、続けたいという声もあるが、果たして生徒たちは1日学校でいっしょに過ごして、三徳・小鹿の生徒はバスに乗って他の学童クラブに行くのかなど。やはり放課後もずっといっしょにいたいだろうと思うし、学年によって下校時間も違うので、移動手段の問題も出てくる。

一方で、統合後の放課後児童対策について、町の方針が定まってから協議してはという声もある。

【委員】保護者の方が学校に近い施設が良いのか、地域で預かるのが良いのかどちらを希望されているのか解らないところではあるが、ハード面も当然、重要なことだが、指導員体制などのソフト面も充実させていかなければならない問題だと思う。支援が必要な子どもの受け入れも増えていくと予想されるし、保育園から小学校、学童クラブへと支援の在り方についても連携を図る必要がある。

それと、冬季に入学前の支援会議を学校と開催している。そういうところにも放課後

児童クラブに携わっている指導員の方にも入ってもらった方が良いのかなと考える。

【委員】3つの小学校が統合して1つになり、併せて学童クラブも1つとなると相当の人数となる。人数が多くなると、それだけ放課後になったという気持ちの解放感も出るし、指導員もますます大変になると思う。その反面、元の校区のところに帰るとなると移動手段の問題や安全面への課題もあるし、どちらが子どもたちにとって良いのか解らないところもある。

【委員】町外出身なので、あまり町内の事情に詳しくはないが、先ほどから各委員がいわれるように受け入れ側と指導される先生方にとっては、やはり学校敷地内の活動拠点に児童が集まってくれた方が、安全面でも指導面でも良いのかなと感じる。

【アドバイザー】今年の3月まで琴浦町の小学校で勤務をしており、実際に小学校統合を経験した。学校の規模は様々だが、湯梨浜にしても、琴浦にしても、倉吉にしても、学校統合を重ねてきているので、どのように考えていくのかというあたりを色々な立場で色々な情報を共有というか、学童クラブであれば学童クラブの指導員のネットワークから情報収集をされていくことも大事かなと思う。

統合したときに、学校内にいる者として一番考えたのは、3つの学校の生徒が集まった時に、新しい学校の一員なんだというか、校区ごとや地域ごとではなくて「新しい小学校の子」を育てていこうとスタートしている中で、学童クラブにとっても、どういう意識でというか、やはり子どもたちにとっては、すごく大きな新しいスタートとなるし、保護者にとっても同じなので、それらも踏まえたうえで、考えていただけたらと思う。実質的には学校側としては、それぞれ元の校区に戻って学童クラブで預かるということが果たして実現できるかどうか、移動手段の問題とか、運営の問題等、複雑に絡み合ってくるので、今の時期に出し合える意見もあると思うので、しっかりと話し合ってほしい。

【委員】1つ質問だが、新しい小学校の規模は、今の西小学校くらいなのか。

【担当課】今の西小学校よりは大きなものかと考えている。

【会長】校舎はおのずと大きくなると思う。今の西小の教室の数では足りないということが出てきているので。

【担当課】もっとも、大きさも適正な規模を考えないといけないが。

【委員】皆さんの話を聞きながら様々な課題があるのだなと感じた。現場に時々、顔を出させていただき、その時の感覚的な捉え方しか出来ていない。学童クラブの指導員の方々は本当に大変だと思う。私は教員だったが、学校はチャイムがあるし、厳しい指導もする。団体行動も学校では指示が入りやすい。しかし、学童クラブはそれを感じさせないことが本来の目的。普通なら下校し家に帰ってくつろいだり、家族とスキンシップするなど、そういう時間を学童クラブで過ごすのだから、そこを大事にしてクラブ運営されていると思うが、子どもたちの集団は時に、危険な行動に走る場合もある。理屈では通じないし、感情的になったら抑えがきかない。そうなった場合にチャイムのない、狭い建物の中で暮らしていて、指導員が目配っていることは、本当に感心している。子どもたちには活動するうえで十分な広さを確保してほしい。

また、学校では、集団に不適合の子どもたちは少人数で教育指導を行っているが、学童クラブでは集団の中の一員となっている。良い面もあるがやはり配慮すべきと感じる。安全を守るために。何かの拍子でキレる子どももいる。時々、その場面も見ること

とがあるので、指導員は体当たりで指導されている。そのあたりも考慮すべき重要なことではないかと思う。子どもの安全のために。

【委員】学校では学年ごとで学校生活を送っているが、学童クラブでは1～6年生までいっしょに生活するため、良いときもあるが、悪いことも多々ある。

【会長】私からは施設的なことから言えば、新校舎が完成したら、旧校舎を放課後拠点施設として利用するのが良いのではないかと思う。旧校舎の対応年数当の問題で使用できなくなった時には、新校舎の敷地内に建設スペースを確保しておいて新施設を建設してはどうか。今は、旧校舎も十分使えると思うので、利用できるうちは利用してはどうかと考える。

【委員】保護者へのアンケートを実施されても良いのではないか。

【事務局】時機をみて検討したい。

7. その他

今後のスケジュールについて事務局が説明。

- (1) 事業計画進行管理表に、いただいたご意見を踏まえて、「課題の解決方法・手段」、「今後の子育て支援事業としての方向性」を記載後、再度、子ども・子育て会議へ報告。
- (2) 10月に第2回子ども・子育て会議を開催。
 - ・議題 ①進行管理表の提示（次年度の事業展開）及びシートの公開について
 - ②今後の放課後児童対策についての審議、意見徴収（2回目）
- (3) H29.2月頃に第3回子ども・子育て会議を開催。
 - ・議題 ①今年度実施事業の状況報告、意見を徴取
 - ②放課後子ども総合プラン三朝町行動計画(仮)についての意見聴取

以上